○○地区防災計画

（一　例）

平成○○年○月

○○自主防災会

１　基本方針

　　災害が発生した直後は、交通網の寸断・火災等の同時多発により消防や警察の防災

　機関が十分に対応できない可能性があります。

「阪神・淡路大震災」や「東日本大震災」の時に、被災者の救出に活躍したのは、地域の住民等であり、災害時は、「自助」、「公助」とともに、地域における自主防災組織の活動「共助」が重要です。

私たちの地区では、「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えで、地区のみんなで助け合いながら、災害に強いまちづくりを進めます。

この取組みを計画的に推進するため、地域住民を主体とした防災組織を構築し、この行動の規範として「○○地区防災計画」を定め、平常時から備えの充実を図るとともに、災害時における「自助」、「共助」を着実に実行するため、この計画に基づく施策・事業などに取組み、地区防災力を高めていきます。

２　計画の対象地区の範囲

　　阿波市○○町○○地区

○○町○○丁目○○番地

○○町△△丁目△△番地

○○町□□丁目□□番地

３　地区の特性と予想される災害

（１）地区の特性

ア　自然特性

（ア）家屋が密集し、地震による家屋の倒壊や、火災による延焼が危惧される地区

　　である。

（イ）地区内に土砂災害危険箇所が点在する。

（ウ）地区内を東西に分断する○○川は、過去に大雨で氾濫したことがある。

　　イ　社会的特性

　　　　地区内の人口は、７５名で内、４０名は、６５歳以上の高齢者である。

（２）予想される災害

　　ア　地震災害

　　（ア）家屋の倒壊や、火災による延焼

（イ）○○地区でのがけ崩

（ウ）○○橋の損壊

　　イ　土砂災害

（ア）○○地区のがけ崩れ

　　ウ　水　害

（ア）○○地区での家屋への浸水

エ　防災マップ

　（地区ごとに作成）

４　活動体制

（１）防災体制（平常時）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 組　織 | 役　員 | | 電話番号 |
| 会　長 |  |  |
| 副会長 |  |  |
| 総務班長 |  |  |
| 情報班長 |  |  |
| 消火班長 |  |  |
| 救出・救護班長 |  |  |
| 避難誘導班長 |  |  |
| 給食・給水班長 |  |  |
| 福祉班長 |  |  |
| 避難場所等 | 施設名 | 管理者 | 電話番号 |
| ○○集会所（緊急避難場所） |  |  |
| ○○中学校（指定避難所） |  |  |
| ○○小学校（指定避難所） |  |  |
| 避難経路 | 防災マップ参照 | | |
| 緊急時の連絡先 | 連絡先 | | 電話番号 |
| 阿波市役所 | |  |
| ○○支所 | |  |
| ○○消防署 | |  |
| ○○警察署 | |  |
| ○○消防団 | |  |
| ○○病院 | |  |
| 災害用伝言ダイヤル（録音時） | |  |
| 災害用伝言ダイヤル（録音時） | |  |
| その他特記事項 |  | |  |

（２）活動体制

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 班　名 | 平常時の役割 | 災害時の役割 |
| 総務班 | ・全般統制  ・関係機関との連携 | ・全般統制  ・関係機関との調整 |
| 情報班 | ・啓発、広報 | ・情報収集、伝達 |
| 消火班 | ・資器材の点検・整備 | ・初期消火活動 |
| 救出・救護班 | ・資器材の点検・整備 | ・被災者の救出・救護 |
| 避難誘導班 | ・避難経路の点検 | ・住民の避難誘導 |
| 給食・給水班 | ・資器材の点検・整備 | ・炊き出し等、給食・給水 |
| 福祉班 | ・要配慮者（避難行動要支援者）の支援体制の整備 | ・要配慮者（避難行動要支援者）の支援 |

（３）連絡網

○○○○

℡

|  |
| --- |
| ○○○○ |
| ℡ |

|  |
| --- |
| ○○○○ |
| ℡ |

○○○○

℡

○○班長

℡

|  |
| --- |
| ○○○○ |
| ℡ |

|  |
| --- |
| ○○○○ |
| ℡ |

○○○○

℡

|  |
| --- |
| ○○○○ |
| ℡ |

○○班長

℡

会　長

℡

|  |
| --- |
| ○○○○ |
| ℡ |

○○○○

℡

副会長

℡

|  |
| --- |
| ○○○○ |
| ℡ |

|  |
| --- |
| ○○○○ |
| ℡ |

○○○○

℡

|  |
| --- |
| ○○○○ |
| ℡ |

○○班長

℡

|  |
| --- |
| ○○○○ |
| ℡ |

○○○○

℡

|  |
| --- |
| ○○○○ |
| ℡ |

|  |
| --- |
| ○○○○ |
| ℡ |

５　活動内容

（１）平常時

　　　いざという時に、地区の力が発揮できるよう、地区のみんなで協力して防災活動に取組みます。

ア　防災意識の普及・啓発

　　　　防災対策では、住民の一人ひとりが防災意識を持ち、「自助」、「共助」への備えを行うことが重要です。

このため、地区住民への防災知識の普及や啓発活動を行います。

　　イ　地区の安全点検

　　　　防災の基本は、自分たちの住むまちを知ることです。

地区の危険な場所や防災上問題のある場所などを確認し、改善のための働きかけなどを行います。

ウ　防災資器材の整備

　　防災訓練日に併せて、地区での防災資器材を整備し、日頃の点検や使用方法を確認します。

エ　防災訓練

　　「やったことのないことは、いざという時にもできない」との認識の下、災害時に的確に対応するため、関係機関と連携しながら、住民に積極的に参加を呼びかけ、毎年１回、下記のような防災訓練を行います。

（ア）避難訓練

（イ）情報収集・伝達訓練

（ウ）救出・救護訓練

（エ）消火訓練

（オ）給食・給水訓練

（カ）防災講演

（２）災害時

　　　災害発生時は、家屋の倒壊、火災、負傷者の発生など様々な事態が同時に発生する恐れがあります。このため、関係機関と連携しながら、みなんで力を合わせて被害の軽減に向けて活動します。

ア　情報の収集・伝達

　　　　関係機関などから正確な情報を収集し、地区住民に伝達します。

また、地区の被災状況などを取りまとめ、市役所に報告します。

イ　救出・救護活動

　　自分自身の安全を確保しつつ、みんなで協力して負傷者や倒壊家屋の下敷きになった人の救出・救護活動を行います。

エ　初期消火活動

　　　　消防車が到着するまでの間、火災の延焼防止のため、初期消火活動を行います。

オ　避難誘導

　　　　地区住民を安全な場所などに誘導します。

カ　給食・給水

　　　　市役所と連携しながら、必要により炊き出しなどの給食・給水活動を行います。

キ　要配慮者（避難行動要支援者）等の支援

（ア）一人の要配慮者（避難行動要支援者）に対し、複数の支援者を決めておき、

　　災害時には、避難などの行動を手助けします。

（イ）いざというときに円滑な支援ができるよう、日頃から積極的に要配慮者（避難行動要支援者）とのコミュニケ－ションを図ります。

６　防災資器材

防災資器材一覧表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| Ｎｏ | 品　　目 | 数　量 | 保管場所 | |
| ○○倉庫 | ○○集会所 |
| １ | ヘルメット | ３０ | ２０ | １０ |
| ２ | メガホン | ２ | １ | １ |
| ３ | リヤカ－ | ３ | ２ | １ |
| ４ | 投光器 | ４ | ２ | ２ |
| ５ | 発電機 | ２ | １ | １ |
| ６ | 消火器 | ５ | ３ | ２ |
| ７ | バケツ | ３０ | ２０ | １０ |
| ８ | ショベル | ３０ | ２０ | １０ |
| ９ | つるはし | １０ | １０ |  |
| 10 | ロ－ブ（20ｍｍ×50ｍ） | ４ | ３ | １ |
| 11 | かけや | ５ | ３ | ２ |
| 12 | 杭 | ５０ | ３０ | ２０ |
| 13 | 土のう | ５００ | ５００ |  |
| 14 | バ－ル | １０ | ５ | ５ |
| 15 | はしご | ２ | ２ |  |
| 16 | のこぎり | ５ | ５ |  |
| 17 | チェンソ－ | ３ | ３ |  |
| 18 | 担　架 | ２ | ２ |  |
| 19 | 毛　布 | １００ | １００ |  |
| 20 | 炊事セット | ２ | １ | １ |
| 21 | ・・・・・・・・・ |  |  |  |
| 22 | ・・・・・・・・ |  |  |  |
| 23 | ・・・・・・・・ |  |  |  |